



届いた思い、つながった気持ち 山を越え、海を渡った風船で育んだ友情!



新型コロナウイルスによって、一変した私たちの生活様式。その第一波による緊急事態宣言解除後の2020年7月、みはた虹の丘こども園の園児達が、「今、自分たちに出来ること」を考え、話し合っ
て行ったバルーンリリース(※1)。コロナウイルスの終息を願って風船に託した思いは、約145km離れた航空自衛隊浜松基地の滑走路に無事着陸し、それが縁となって今でも友情を育んでいます。

昨年の夏、航空自衛隊浜松基地より『コロナウイルス終息を願って… みんなのために頑張ってくださいという方へ感謝の気持ちを込めて…♡』というメッセージを受け取りました。と突然連絡をいただいた時は、園児達も職員も「奇跡が起こった!!」と飛び上がって喜びました!

そして、驚きはさらに続きます。浜松基地からプレゼントの入ったダンボールが届いて開けてみると、パイロットの皆さんが、ジェット機と一緒に凛々しく写っている写真も入っていました。よく見ると「みはた虹の丘こども園」「風船とお手紙ありがとう!」のプラカードを持って整列いただいています。



またお手紙には、『今回、お手紙を受け取って、私たちは皆さんから直接感謝の気持ちを頂くとともに大きな力をもらうことができました。皆さまの優しいお気持ちに感謝の気持ちでいっぱいです。』と綴られていました。園児達の思いがこのような形で結実し、もう想像を絶するほど感激です!!

「お返事の手紙を届けたい!」興奮気味な園児達の希望で玄関ホールに郵便箱を設けると、思いが詰まった手紙ですぐパンパンに!「パイロットになりたい!」「運動会ガンバル!」など、園児や職員こそ夢と勇気を授かったようです。



そして時は流れて師走に入ったある日、防衛省空幕広報室から、「12月8日の防衛省航空自衛隊のツイッターで、お手紙のお礼をしたいのですが、掲載を了解いただけるでしょうか。」との問い合わせ。快諾したのはもちろん早速園児達に報告したところ、すぐに歓喜の輪ができました「うれしい!」。そして待ちに待ったツイッターを見ると、あっという間に2700件近い『いいね(※2)』があり、その反響の大きさにも感動です!

コロナ禍の中、自分達でできることは何だろう?と考え、風船に託した願いは、感謝の気持ちとなって園児達の元に返り、それが縁で友情が育まれる。小さなことでも、行動を起こせば思いは届く…コロナ禍で思い切り過ごせなかったこの一年でしたが、この「友情」は卒園や進級を控える園児達にとって、何よりの宝物となりました。航空自衛隊浜松基地の皆さん、ありがとうございました。そして一日も早い、コロナ終息と平和を願います。

(※1)(一社)日本バルーン協会のガイドランスを参考に環境に配慮して行っています。

(※2)インターネットのコミュニケーションツール上で、発信した記事に共感した場合に、読んだ方が意思表示することができる機能。



名張育成会の活動、ひとつずつ!

各施設の様子をお伝えする「MiRAIレポートブログ」から
選り抜きの話題をご紹介します。

はてなブログ MiRAIレポート 検索



レインボークラブ

門松



就労訓練事業で、年末に恒例の
ミニ門松を作製しました。毎年、前
年の反省点を確認し改善していく
ことにより、年を重ねるごとに良い門
松に仕上がります。

また今まで購入していた装飾も、
今年は手作りにチャレンジ。感謝の
気持ちと、新年の幸せを願い、真心
を込めました。

就労訓練では、この門松作製を通じて、改善の大切さ・役割分担・チャレンジ
精神・責任感・達成感・感謝されることへの喜びなど、短い期間に多くの学びが
あります。今年も色々チャレンジしてまいります。

特別養護老人ホームグランツァ

謹賀新年



お正月のお食事は、元旦には、鰯の
照り焼き・伊達巻・数の子・黒豆・紅白
なます・きんとんなどのおせち料理。
2日目の昼食には、ちらし寿司・茶碗蒸
し・赤だし。夕食には、てんぷら盛り合
わせと豪華メニュー☆3日目は、ほたて
ご飯と出汁巻き玉子などと、おやつは
どら焼き!それぞれ趣向を凝らしたお
食事でした。

そしてリビングでは、書き初めなど
を楽しんだり、それぞれお正月らしく
過ごされました。今年も楽しく暮してい
ただけるよう努めてまいります。

〈ゆうら〉放課後等デイサービス

年始行事



新年初開所の日、年
末に子どもたちと一緒に
作った門松を玄関に飾
り、変わらず元気に来所
してくれた子どもをお迎
えしました。



さて恒例の年始行事、
まず書初めは、半紙とお手本をにらめっこしながら、力強く上手に書けまし
た。次に、好きな絵を描いた凧作り。そして、アツアツの大根もち作りと盛りだ
くさん。明日は何をしようかな?凧揚げ、福笑い、コマ回し、かるた遊びなど、年
始行事はまだまだ続きます。今年もたくさんの笑顔をお伝えしてまいります。

(表面より)



風船が飛んだわけ!



風船は、息を吹きこむのではなく、「ヘリウム」という空気よりも
軽い、燃えない安全なガスを充てんします。空気よりも軽いのでど
んどん舞い上がり、なんと高さ5000m~8000mまで上昇しま
す。そこで、空気が薄くなって風船が膨張したり、低い気温や強い
紫外線の影響などによって破裂し、こなごなになった破片が自然
に落ちてきます。

今回は、ゆっくり上昇した風船が高高度で破裂したあと、くくり
つけた「メッセージ」が風を受ける帆の役割をして、高度を保った
まま西から東に吹いている偏西風に乗る、海を渡ったものと考えら
れています。風のかってすごいいね!!

ところでゴム風船の原料は、ゴムの木から採取される「ラテックス」という天然素材
で、日光や水によって分解され、土に帰ると言われています。 ご協力:(一社)日本バルーン協会

バルーンリリースや
お手紙をいただいた際のブログです



▲風船に思いを込めて



▲風船に乗せた思いが
届きました



虹の会では随時会員募集しています。

支援を通じた仲間作り。一緒に活動しませんか! 名張育成会後援会・虹の会 0595-65-0271